

附属病院での新型コロナワクチン接種

学生・職員の安全のために。地域貢献のために。

現在、附属病院では国民の1日も早いワクチン接種完了に協力するために病院8階に会場を設置してワクチン接種を進めています。2021年4月23日より職員に対する接種を開始し、本学学生や職員家族、千代田区民などに対して9月末までに約3,000名の接種を完了する予定です。

また、全自治体での接種体制の構築に向けた打ち手確保のための時限的・特例的な取り扱いとして歯科医師によるワクチン接種のための筋肉内注射の実施が認められました(厚生労働省 事務連絡 令和3年4月26日)。当院でもワクチン接種のためのE-learningおよび実技研修を修了した先生方が診療の合間を縫って看護師とともに打ち手として日々活躍してくれています。

ワクチン接種は発症予防、重症化予防に

は有効ですが、感染予防としてはマスクや手洗いなどの感染対策を実施する必要があります。ワクチンを接種したからと油断せずに、日頃の感染対策を継続して早期の収束を期待したいと思います。

附属病院 新型コロナウイルス感染症対策本部長 石垣 佳希 (79回)



浜浦祭

—— 第49回開催に向けて ——

各部活の模擬店が並び、音楽サークルのライブや文化系サークルの展示など見どころがたくさんあります。またお笑い芸人さんやご当地アイドル、声優さんなどをお呼びしたスペシャルライブを行うほか、講堂や特設ステージでの催しも開かれます。新潟病院では本学学生による無料歯科相談、アイヴィホールでは地域の一般の方に向けた公開講座も同時に開催され、毎年多くの方に来場いただいています。学生だけでなく、来場された方が全員楽しめるような学園祭を目指しています。

コロナ禍のため昨年、今年と開催ができませんでした。が、「浜浦祭」は毎年6月の第二週の土日に開催される学園祭です。学内の敷地内には



新潟生命歯学部

新潟生命歯学部サッカー部は現在部員20名で活動しております。新型コロナウイルスの影響により2020年より活動がおこなえず現在の1、2年生はどのような雰囲気なのかもわからないまま部活を選択するのは難しかったと思います。本来であれば春に新入生歓迎会、東京校との合同合宿があります。夏には暑

い中、全日本歯科学学生体育大会へ向けての練習を行い、大会終了後は開催地での観光など他にもいろいろなイベントがありました。

新潟生命歯学部にはとても綺麗な人工芝のグラウンド



新潟生命歯学部4年
中村 誠仁

とナイター設備もあるので昼夜問わず思いっきりサッカーを楽しめます。そしてサッカー部には数多くの頼りになる先輩がいて、とくに新潟病院に多くの先輩方が勤務されているのは心強いです。学年が上がるにつれ実習、勉強面やプライベートなことでも悩んでいれば必ず助けになってくれる存在です。

まだどの部活にするか悩んでいる人や、サッカーをしたことがないけれどやってみたく、マネージャーでサポートをしてみたいという方がいましたら練習を再開したらぜひ見学に来てください。

最後にサッカー部の部員はみんな仲良く真剣にサッカーに取り組んでいます。練習ができるようになればみんなで思いっきりサッカーをしましょう!



生命歯学部

サッカー部は、現在プレイヤーとマネージャー合わせて43人が所属しています。水曜日と土曜日に練習をし、日曜日は練習試合や医歯薬獣のリーグ戦に参加しています。

また、例年は合同合宿への参加、夏合宿を実施しています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で大会が開催されませんでしたが、一昨年度の歯学部では準優勝とい

う成績を収めました。

サッカー部の長所は結束力の強さです。これは、経験者・未経験者関係なく真剣に練習に臨み、互いに切磋琢磨した結果生まれたものだと思います。

そして、その結束力は部活動以外でも発揮され、OB・OG先生方との関係性を築きながら、勉強面では支え合い、学生生活を楽しく送ることができています。

サッカー部で活動してきて、学生である以上勉強が第一ですが、部活動も学生生活の中で大事なシーンだと感じています。

だからこそ、現在は活動をおこなうことが

できていませんが、安心して楽しく活動ができる日が1日も早く来ることを願っています。



群馬 地区別校友会紹介

群馬 群馬県校友会は昭和2年に日本歯科大学専門学校校友会群馬支部として設立され、今年で94周年を迎えます。昭和4年11月の校友会本部総会の決議により各府県日本歯科大学校友会と改称し、自主的かつ積極的に運営される体制が整えられました。これに伴い群馬県日本歯科大学校友会と名称を改め現在に至っております。

現存する最も古い昭和5年の名簿によれば46名の先生方が入会しておりました。その後会員数は徐々に増え、平成22年の219名をピークに、現在は195名と一時よりは減少傾向にはありますが、それでも県歯科医師会会員の約四分の一を占め、最大の会員数を誇っております。卒業生が群馬県に戻って来た折には、校友会を挙げて支援する体制は常に整えております。馬が群れをなして走ってはおりませんが、有名な温泉地も多く風光明媚な土地柄ですので、卒業したら安心して帰ってきて校友会に入会して欲しいと思っております。

群馬県は東京と新潟の間に位置しているため、ここ数年間の群馬県出身在校大学生数の平均を見ると、新潟生命歯学部の学生数は生命歯学部の約2倍在籍しております。そのため20数年前より新潟生命歯学部の卒業生が徐々に上回り始め、現在は生命歯学部の卒業生より圧倒的に多くなっております。群馬県校友会としては両校卒業生の緊密な交流と親睦を図りつつ、今後の発展を見据えた校友会の構築を目指しております。

関東地区では1都7県の校友会役員が参加し、毎年10月頃に校友会懇和会を開催しております。かつては親睦に重点を置いて各県の温泉地に泊して開催しておりましたが、時代の変化と共に、懇和会も日帰りでの意見交換中心の協議会へと変化しております。一昨年の令和元年10月に第46回関東地区日本歯科大学校友会懇和会を群馬県が当番で、理事長・学長・校友会会頭の中原泉先生にご臨席を賜り、89名の参加を得て高崎市で開催して、活

発な意見交換を交わし実り多い協議会に終始しました。昨年は新型コロナウイルス感染症のため延期になり、今年は感染リスクを避けるためにリモート会議での開催を予定しております。コロナ感染症により21世紀最大の危機を迎えた人類が、歴史に残る災禍に打ち勝ち日常を取り戻したあかつきには、以前のように膝を交えて親睦を深めることができる懇和会に戻ることを期待するばかりです。

関東地区は生命歯学部のお膝元でありますので、本学の名を汚さぬように今後も校友会の充実、発展のために努力して参りたいと考えております。

群馬県校友会 会長 奥山文雄(64回)

奥山歯科医院 0270-23-2290



国家試験体験記

新潟生命歯学部

日本歯科大学新潟病院臨床研修歯科医師の手塚です。私の一風変わった国家試験に向けた勉強法を皆さんにお話したいと思います。

その前に諸先輩方がどのように勉強してきたかを自分調べではありますが、紹介します。

今回国家試験体験記を書くにあたり過去10回分のKOYU Timesを調べたところ、内容にいくつかの共通点がありました。4年生までに自己学習ノートを作ること、5年生では診療の流れを理解し先生に積極的に質問すること、6年生ではプリントや参考書をノート代わりにして作っていくこと、5、6年生になってからノートを一から作るのは難しいことなどでした。なかでも全員が共通しているのが「自分自身の

勉強のスタイルを見つけておくこと」でした。この「勉強スタイルの確立」という一点に関してのみ、こんな変わった方法もあるということで私の勉強法が皆様の参考になれば幸いです。

私の場合、4年生まではひたすら授業のプリントを読み、理解し、説明することの繰り返しでした。特に説明は、友人を捕まえて、友人が理解できるまで行いました。5年生では臨床操作や、材料等の選択に関して、先生への質問や教科書での勉強だけでなく、論文検索や材料の添付文書の確認なども行っていました。6年生のときは持っている教科書を全て読み、教科書の中で難しいと感じる箇所を見つけ、それを友人に説明することを繰り返しおこないました。

私が自己学習にかけた時間は、6年生の時でも週に3日程度と、同期の中でも特に

少ない方でした。時間を効率よく使うためにやってよかったことは、国家試験対策の問題集を解かなかったこと、友人に教えるという学習形態をとったことです。国家試験の問題は授業中に問題演習

です。すでに良い問題を解いているため、それを理解していればわざわざほかに解きなおす必要はないと思います。逆に、時間をかけて後悔したのはノートの製作でした。過去のノートでは情報も不足し、書き足すスペースも不足するため、教科書をベースに学習することをおすすめします。

最後になりましたが、机に向かってることだけが国家試験対策ではありません。自分にとって一番無理のない勉強方法をみつけてください。



新潟病院臨床研修歯科医師
手塚 保仁
(110回)

こうゆう先輩 第25回

旅行で、いいんじゃない?



渡辺 政夫 (83回)

いまから20年前、披露宴直前での会話。特別趣味のない私たちに与えられた質問の答えを考えていた時のことである。共通の趣味は「旅行って言ってあげばいいんじゃない?」と短絡的に妻に提示したものであった。

年を重ねても旅行ならいつでも行ける、生涯の趣味とうまく言ってしまうと格好がつく。

しかし、旅行などほとんど行かない私たちは、ありきたりなハワイをハネムーン先に選んだことが、後に大病人生につながった。

初めてのホテルは、100年の伝統をもつコロニアル調のモアナサーフライダー。エントランスを吹き抜ける、ビーチからの風はシャツ

を優しく揺らした。これほどまでに、心地よく体を包んでくれるとは、まるで汚れた自分が浄化される様だった。

その中でもオアフ島の良さは、気候だけでなく、買い物、ドライブ、ビーチ、食事、ホスピタリティとすべての世代が安全に楽しめる都会である。

当たり前のように毎年ハワイに行くようになり、可能な限りさまざまなホテルに滞在し、ガイドブックには掲載されない場所まで足をのびた。ハレクラニホテルの中庭で、ようやく歩けるようになった娘と静かな散歩をしたり、4人家族になった今は、エンパシースイートホテルを定宿にしたりと、成長と共に、楽しみは子供たちにも理解できるようになった。

ハワイ旅行者の中には、好きすぎて重症患者になることも多い。ハワイ病である。帰国後、次の渡ハ(ハワイに渡航する略語)の予約をしなければ、禁断症状になる人もいれば、滞在中に発症する人もいる。

長期疾病の自分は、帰国便を待つ空港で、またここに戻ってくると約束し、辛い気持ちを置いてくる。いつしか、自分の人生目標は、「何度、ハワイに行ったか」となり、そのために仕事をし、休暇も作る。

旅行で、いいんじゃない? と言った一言が、今ではどんな仕事も頑張れる、大きな原動力になっている。



学生短信 Niigata

我々新潟生命歯学部学生委員会では、例年、ホテルでの新入生歓迎行事を開催、支援してきましたが、今年はコロナの影響により実施できなくなりました。しかし、今回、学



新潟生命歯学部 4年
溝口 光生

生委員会と体育会で新入生に向けて何かできないかと話し合い、先生方に相談したところ、6月19日に新入生歓迎会およびクラブ紹介をweb上で執りおこなうことが実現しました。私自身、このような大事な

コロナ禍における新入生歓迎会

音頭をとった経験がなく、また、web上での新入生歓迎会は初の試みであるため不安もありました。しかし、学生委員会のOB、体育会委員長、学生部の先生方、事務の方々など多くのお力添えもあり、無事に成功させることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

当日は、学長のご挨拶に始まり、大抽選会や学生の自己紹介、研修医の先生との交流などをおこないました。新入生からは想像以上の反応があり、私も初めての司会進行役に緊張しつつも、楽しむことができました。また、

終了後には新入生から非常に楽しかったですと多数のメールを受け取りました。

今後、我々が歯科医師となった暁には、新型コロナウイルスで交流が少ない世代と言われるでしょう。しかし、直接会うことができないなか、アイデアを出し合ってwebでの交流を成功させた経験をこれからの成長に繋げ、今後の学生生活、さらには歯科医師人生に活かしていくことが肝要であると心に刻み込んでいきたいです。

最後となりましたが、改めまして新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

『“はじめてさん”の感染対策レクチャーブック 平常時とアウトブレイク時の対応ができる! 院内エリア&部門別 Infection control』 編著:坂本 晴世

出版社:メディカ出版 出版年月:2019/8
請求記号:WX167/Sa31 登録番号:500006994

医療従事者のための感染対策のノウハウをまとめた本です。ガイドラインやエビデンスに基づく知識だけでなく、執筆者の感染管理看護師の経験をもとに、具体的な対応事例なども紹介されています。また現場の職員のみならず、学生さんにも理解しやすいように書かれており、将来にも役に立つ一冊ですので、ぜひご利用下さい。

●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



『口腔漢方処方早わかりガイド』 著者:王宝禮

出版社:クインテッセンス出版 出版年:2021
請求記号:D1.5-O 登録番号:000139650

「口腔疾患への漢方薬の保険適用」に関してのさまざまな意見を集約してできた書籍で、口腔内の不調を訴えてくる患者に対し、西洋薬の次の一手として穏やかな効き目の「漢方薬」を処方するのに参考になる一冊です。歯科で有効な32種の漢方薬を厳選し、体質別に処方薬を指示し、歯科保険適用の漢方薬11種についてもふれているので、日常の保険請求にも生かせる書籍だと思います。

●図書館開館情報

平日 9:00 ~ 17:00 土曜日 終日閉館
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。
年末年始は12月28日(火) ~ 1月4日(火)が休館となります。

KOYU Quiz



Q. 歯の研磨標本では矢印の層にたくさんの線がみられます。これは何でしょう。

KOYU Quizの答え
象牙質中の象牙細管は象牙芽細胞突起が入っています。
象牙質の上部(図)にナメル質、その内側(矢印の層)に象牙質がみられます。

診療室での物語

カルテ No.29 記録と記憶



横浜市開業
上妻 和幸
(87回)

24年の歯科医師人生のうち、城となる自院を開業してから14年が経つ。卒後の歩みは父の早逝や閉院、人生の転機をいくつも迎え、大言するつもりはないのだがなかなか波乱万丈であった。

飯田橋には近づかない。大学病院には「答え」はなく、開業医が中心となるスタディグループの中で研鑽することこそが、一端の歯科医師として喰っていく美德だとばかりに、セミナーや症例発表会に

足を運んでいた若い頃。今となってはその青臭い偏見が、気恥ずかしくて赤面する。

しかしながらさまざまなスタディグループ内で症例発表をする機会を得るにつけ、志を共にする数多の歯科医師とのディスカッション、あるいは「自分ならこうする」という多角的な意見交換をおこなった時間こそが、現在の私の血肉となっていることは間違いない。

その意見交換の場において最も大切になるものは、言わずもがな患者さんの詳細な口腔内・外の資料である。

数多の歯科医師が統一した目でその患者さんの口腔内の状況を閲覧し熟考するためには、規格性を持たせた資料が机上になければディスカッションに至らない。そこには正確で、繰り返し再現できる「記録」としての写真資料や

データを並べることでできるスキルが必要だ。

また、昨今の配信型セミナーやプレゼンテーションを拝見していると、その発表内容の緻密さや詳細な論文構成、あるいはストーリー性などと表現したものか、患者さんと歯科医師とスタッフで築き上げた、治療完了までの一つの物語を拝聴しているような気持ちになってしまうほど完成度の高い構成のもの数多く見るようになった。

時間をかけてコツコツと構築してきた長期症例や審美修復を終えた患者さんの、その輝く笑顔を取り撮った「記憶」としての1枚の写真は、歯科医師だけでなく関わったスタッフに

とっては珠玉の結晶となり、また患者さんにはその口腔内を大切に守っていただく、最強のモチベーションツールにもなり得るだろう。

私どものクリニックでも、規格性に基づいた資料採取や術後のスマイル・ポートレートなど、カメラがフル稼働している毎日だ。青臭く尖った若い頃に見た開業医の集大成とは、このようなとても地道な道端に息吹くものなのかもしれない。

美は細に宿る。正確な「記録性」そしてエモーショナルな「記憶性」。それぞれを切り撮ることのできるスキルを磨きながら、今日もクリニック城主は孤軍奮闘するのであった。



校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

